

第十二回配本

姫路市史 第五卷 上

本編 近現代 1

監修 神戸大学名誉教授
八木 哲浩



明治初期 薬師山から飾磨県庁と姫路城を望む

第三十八国立銀行紙幣（上 五円券、下 壹円券）

日本銀行金融研究所貨幣博物館所蔵

近世から近代へ 解明すすむ姫路の全貌

— 本編近現代1の刊行にあたって —

第十二回配本、『姫路市史』第五卷上本編近現代1をお届けします。第五巻では、はじめ一冊の配本を予定しておりましたが、豊富な史料の発見により上・下二分冊として提供することに致しました。本巻は、第十二巻史料編に対応するもので明治期の姫路を対象としています。

姫路は、近世十五万石の藩領を基盤として栄えた城下町だけに政治・経済をはじめあらゆる分野において豊かな潜在的資源に恵まれた地域でした。これまでは譜代藩であった宿命として守旧・佐幕派と一括りで理解されてきましたが、明治維新後は複雑な発展を強いられます。旧藩体制の解体というプロセスを進行させつつ、近代社会に適応する新たな社会構造の創出という二面性が交錯しつつ、発展を遂げています。近代史におけるこの姫路の発展の経緯は、姫路の文化的特質を構成して現在にも影響しています。本巻では、その構成要因を詳細に分析し、記述しています。

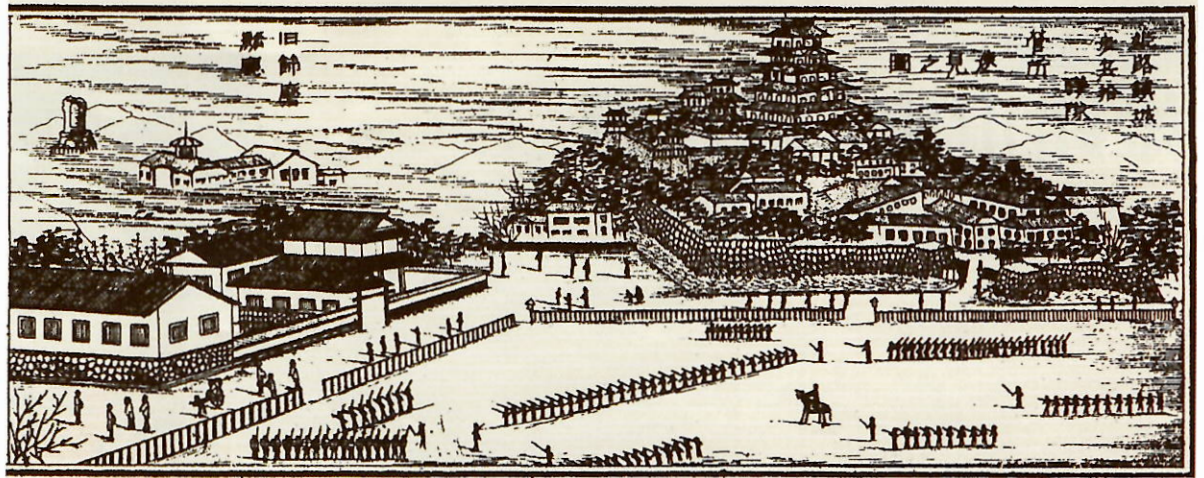
この巻には、姫路城の開城から廃藩置県までの藩体制の解体、飾磨県の成立から兵庫県への統合、播但一揆や地租改正、士族授産や第三十八国立銀行の設立など旧体制の残滓を清算しつつ新体制への適応を模索する明治初期の姫路の苦難を取り上げています。そして明治二十二年の市制施行以後では、日清・日露戦役を経て軍都としての姫路の個性が形成される一方で、山陽鉄道や播但鉄道の敷設により活発に展開される経済活動を取り扱っています。ここでは、姫路の財界を二分する「広域主義」と「地域主義」の拮抗など興味深い新事実の指摘もあります。また義務教育の発展や中等教育の普及も教育史に興味を持つ人にとっては見逃せません。

何れの分野もこれまでほとんど未解明であったといつてよい内容と記述があり、新発見に胸おどる思いをされることでしょう。本巻が今後とも市民の皆様にとって歴史学習の手引きとして広く活用されることを念願致します。

購読申込みについて

市史第五巻上 飾磨県布達七

・書名	姫路市史第五巻 上 本編 近現代1
・本の体裁	A5判 上製本 中性高質紙使用 装丁用織物表紙 貼函入
・領価	五、〇〇〇円 送料五〇〇円（1部につき）
・書名	飾磨県布達七
・領価	一、五〇〇円 送料三〇〇円（1部につき）
・発売日	姫路市史第五巻 上 本編 近現代1 平成十二年四月十日 飾磨県布達七 平成十二年四月十日
・領布方法	史料整理担当 又は、市政情報センター（市役所一階）でお求め下さい。
・申込先	郵送希望の方は、電話で、史料整理担当へお申込み下さい。 城内図書館 史料整理担当 〒670-0012 姫路市本町六八一二五八（日本城郭研究センター） 電話（〇七九二）8914886



(播磨有名勝地并豪商獨案内)

姫路市史資料叢書 1

飾磨県布達七

監修 山崎 隆三 (大阪市立大学・名城大学名誉教授)
解説 八木 哲浩 (神戸大学名誉教授)

飾磨県行政の進展

— 県独自の甲・乙・丙布達 —

明治七年までの飾磨県布達は、中央政府の布告を県民に伝達するものが主であって、県独自のものはその間に混じって少数のものが布達されていたにすぎない。ところが八年に入ると、中央政府の布告とは別に、県独自の布達が大量に、しかも甲・乙・丙号と区分して出されている。これは、飾磨県の行政の進展を物語るものであるとともに、県内の地域の実情と行政の実態を示す貴重な史料となっている。

本第七巻では、前巻で予告したように、八年一月～十二月の甲・乙・丙号布達を収録した。姫路市市史編集室では、散逸したこれらの布達を県下から広く収集してきたが、甲号は公布されたと思われるものの大部分を入手することができたが、乙号はその約半分、丙号にいたっては一割余りのものを収録できたにすぎない。そういう意味で未完成ではあるが、今後各地で新しいものが発見される手掛かりとなれば幸いであると考えて、ここに公刊するものである。

なお付録として、明治五年と八年の飾磨県官員録を写真版で収めた。この三年間に県庁の組織は四課から五課となり、本庁の官員数も増加し、複雑となった行政を支えたことを知ることができる。

七巻を収め
凡罪因推乳月平西人
降お存すし後別紙郵致
照奉せしむる日

県乙布達筆書き

既 刊 案 内

- 第一回配本 (昭和六十一年)
○ 姫路市史第十巻 史料編 近世1 A5判 九一八頁
頒価 六、三〇〇円
- 第二回配本 (昭和六十三年)
○ 姫路市史第十四巻 別編 姫路城 A5判 九一三頁
頒価 五、五〇〇円
- 第三回配本 (平成元年)
○ 姫路市史第十二巻 史料編 近現代1 A5判 八四四頁
頒価 六、二〇〇円
- 第四回配本 (平成四年)
○ 姫路市史第三巻 本編 近世1 A5判 五八六頁
頒価 五、四〇〇円
- 第五回配本 (平成四年)
○ 姫路市史第十五巻 上 別編 民俗編 A5判 七七九頁
頒価 五、三〇〇円
- 第六回配本 (平成六年)
○ 姫路市史第十三巻 上 史料編 近現代2 A5判 九五六頁
頒価 六、五〇〇円
- 第七回配本 (平成七年)
○ 姫路市史第十五巻 中 別編 文化財編1 A5判 五五三頁
頒価 三、五〇〇円
- 第八回配本 (平成八年)
○ 姫路市史第十一巻 上 史料編 近世2 A5判 八七五頁
頒価 六、四〇〇円
- 第九回配本 (平成十年)
○ 姫路市史第七巻 上 資料編 自然 A5判 四四五頁
頒価 五、六〇〇円
- 第十回配本 (平成十一年)
○ 姫路市史第十一巻 下 史料編 近世3 A5判 九三一頁
頒価 五、七〇〇円
- 第十一回配本 (平成十一年)
○ 姫路市史第十五巻 下 別編 文化財編2 A5判 八〇六頁
頒価 五、三〇〇円

(送料 各巻共 五〇〇円)

- 姫路市史資料叢書1
- 第一回配本 (平成八年)
○ 飾磨県布達 一 明治四年十一月～明治六年三月
- 第二回配本 (平成九年)
○ 飾磨県布達 二 明治六年三月～七月
- 第三回配本 (平成九年)
○ 飾磨県布達 三 明治六年七月～十二月
- 第四回配本 (平成十年)
○ 飾磨県布達 四 明治七年一月～十月
- 第五回配本 (平成十一年)
○ 飾磨県布達 五 明治七年十月～十二月
- 第六回配本 (平成十一年)
○ 飾磨県布達 六 明治八年一月～八月

※頒価 (各巻共 一、五〇〇円) 送料 各巻共 三〇〇円

発刊当時のチラシにつき表示されていない巻もありますが、姫路市史は全巻 (16巻23冊) 発刊済です。